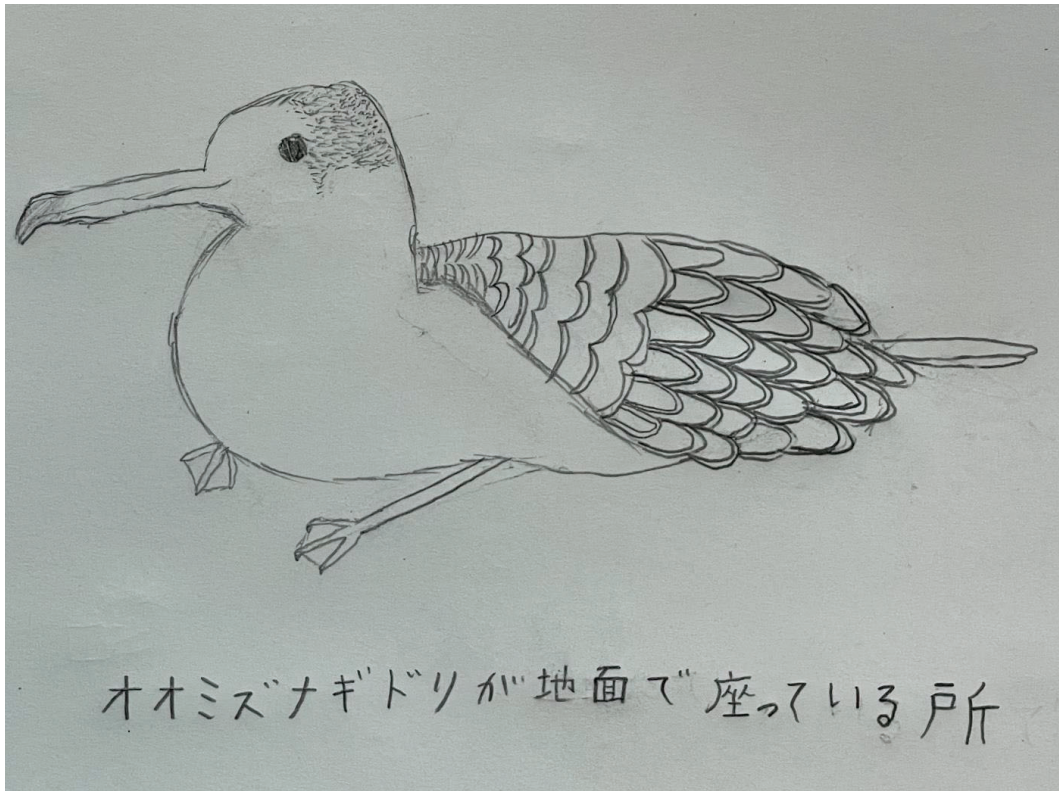


街なかでは飛び立てない渡り鳥 ～オオミズナギドリ～

新島村立新島小学校
2年 中村花蓮

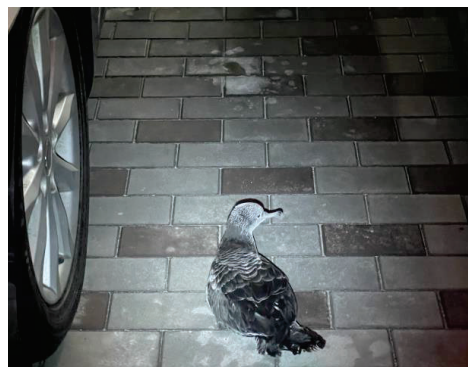
1 研究のどうき

さく年の11月にオオミズナギドリが、みちばたにうずくまったじょうたいでいるのを
はっけんしました。その時子どもたちが、オオミズナギドリの周りに集まってもにげ
るようすもありませんでした。その時のことを村の人に聞いてみましたが、「秋ごろ
からオオミズナギドリがよく飛ばずに道にうずくまっているが、なぜそのようなこと
になるかはよくわからない」と言われ、ぎもんに思いしらべることにしました。



2 予想

みくらじまに住むオオミズナギドリが
あたたかい地方に飛んでいくとちゅうに、
体力を使い果たしてつかれてしまい
とべないのかなとおもいました。



3 研究の方法

- (1) 図書館でオオミズナギドリにかんする本をさがす。
- (2) インターネットを使ってオオミズナギドリをしらべる。
- (3) みくらじまのオオミズナギドリを守りたいゆうしの会の方にお話を聞く。

4 研究の結果

- (1) オオミズナギドリ(わめい)ミズナギドリ目ミズナギドリ科オオミズナギドリ属
- (2) 日本の中ではさいだいしゅでぜんちょう48cmくらい、ツバサを広げると120cmくらい、たいじゅう440gくらい。
- (3) オオミズナギドリのせいそくちは、日本では北海道松前大島、岩手県山貫島、東京都御蔵島、京都府冠島、島根県星神島、沖縄県仲神島など。
- (4) しゅうだんはんしょくちは、てんねんきねんぶつとして保ごされている。
- (5) はんしょくきの昼間は、海の上ですごし、夜は巣にもどる。
- (6) オオミズナギドリにとってのきょういは、ネコ、カラスだけではなく街の明かり。

5 分かったこと

- (1) 弱っていて飛べないと思っていた。
- (2) 子供で飛び方を知らないと思っていた。
- (1) (2)だと思っていましたが、ツバサの作りやたいけいによって遠くに飛ぶことができるが、りくからうまく飛べないことがわかりました。飛べなくなったオオミズナギドリを見るじきは、新しい世代の若い鳥がすだつ、10月、11月が多いことがわかりました。

○つばさの形と飛び方

とり と かた かたち ふか
鳥の飛び方は、つばさの形と深くむすびついています。たとえ

なが と みじか
ば、キジは、長いきよりを飛ぶことができません。つばさは、短く

はば ひろ かたち はんたい うみ うえ なが と
て幅の広い形をしています。反対に、海の上を長いあいだ飛ぶ

なが おお
ことのできるオオミズナギドリは、長くて大きなつばさをもっています。

出典：科学のアルバム四季の野鳥かんさつ

6 研究のまとめ

オオミズナギドリは、明るいところに向かうしゅうせいがあります。新しいこどもが8月に生まれ11月ごろに立ちます。新しい子どもたちは、けいけんもなく街の明かりにまどわされてまよいこむことがあります。

渡り鳥として遠くまで飛べるようにきん肉やしぼうを落としているため、風がないところで飛ぶことができず人間が近づいても飛んで逃げることができないことがわかりました。

7 参考文献

あかね書房 1986年発行

科学のアルバム四季の野鳥かんさつ

山下宜信 菅原光二 丸武志 岡本雅晴

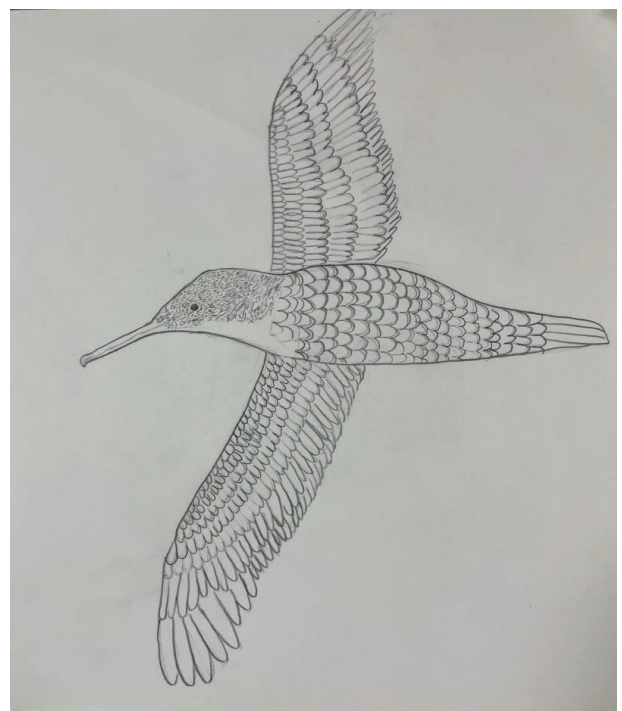
インターネット

御蔵島のオオミズナギドリを守りたい

<https://oomizunagidori.jimdo.com/>

サントリーの愛鳥活動

<https://mobile.suntory.co.jp/>



絵：中村花蓮